

岡山県とローカル線問題について、意見交換を行う

県は芸備線を含めて全路線を守っていく

駅までのアクセスと駅からのアクセスを改善すべき

地本は、5月21日15時30分より、岡山県とローカル線問題について、岡山県庁において、意見交換を行いました。

岡山県からは、森県民生活部県民生活交通課長・吉原総括参事、大塚県議、国労からは、地本三役が出席し、お互いに地方ローカル線の存続に向けて努力していくことで意見が一致した。そして、今後も意見交換をしていくことを確認した。



芸備線再構築協議会が開催され、路線廃止で臨むJR西日本と路線存続を主張している自治体の議論がされている中で、労働組合としての考え方を述べながらお互いにローカル線の存続に向けて努力していく目的で意見交換を行った。

〈岡山県の意見〉

- ・コロナ禍で鉄道を利用しなくても出来なかったが、コロナが終息しても列車が減便されている。利便性は低下している。
- ・沿線自治体は、利用促進に向けて駅前整備などをしてきているのに、列車の減便がされ残念である。
- ・現在、車での移動をいかに列車に変えるかを考えていきたい。駅までのアクセスと駅からのアクセスを改善すべきである。
- ・その為には、列車ダイヤが利用実態に合うことが必要である。
- ・バスも厳しい経営状況にあり、減便し時刻の繰り下げをおこなっている。

- ・県としてパーソントリップ（PT）調査を行ってきた。
 - ・県として芸備線を含めて全路線を守っていくようにしていく。
- ### 〈今後において〉
- 今回、初めて岡山県との意見交換を行った。ローカル線の存続について意見一致した。
- 国労の取り組みを報告しながら、国労も頑張ることを述べ、県としても引き続き再構築協議会の場を含め、芸備線の存続の立場で臨んでいくことを確認したところである。
- 今後において、引き続き意見交換をしていくことを確認した。

地本労働学校

日時	2024年7月20日（土）10時～
場所	岡山市岡山国際交流センター
内容	物流2024年問題と地方ローカル線（仮題）
講師	岡山合同法律事務所 則武透弁護士

中国メンテック夏季賞与回答

生活改善されないと抗議

2・60ヶ月13万円を回答

5月15日、JR西日本中国メンテックは夏季賞与の回答を行った。

（回答）

社員 2・60ヶ月
（昨年比0・1ヶ月増）

準社員 1・04ヶ月
（昨年比0・1ヶ月増）

夏季賞与

社員 2・60ヶ月
（昨年比0・1ヶ月増）

準社員 1・04ヶ月
（昨年比0・1ヶ月増）

夏季賞与における

特別加算額

社員 30,000円

（昨年比10,000円増）
準社員 20,000円
（昨年比10,000円増）

国労は、回答に対して、物価高に追いつかない低額回答。これでは労働者は生活改善されない。そして、準社員も生活苦は同じである。この間の労苦も同じであると格差をつけないように、会社に対して、抗議を行った。